

介護あんしん 相談員だより

第41号 令和元年7月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します (平成31年3月・4月・令和元年5月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：廊下に「子ども110番」のお礼の手紙が提示されていました。
施設：施設が住宅街の中にありますので、地域への協力も行っています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設は、地域に根ざした施設を目指し、“子ども110番”“子どもクラブの廃品回収”“もぐら打ち”等、以前から地域での取り組みに協力されているそうです。

高齢者が住みなれた地域で最後まで生活をするためには、施設の中だけではなく、地域との繋がりを持ちながら生活していく事がとても大切になってきます。それは、施設の利用者様がお買い物でお店に行かれた時や、お散歩で施設への帰り道が分からなくなった時、災害の際に避難する状況になった時等にも地域との繋がりはより一層重要になってくるのではないのでしょうか。

他の施設でも“とすっこ体操”を地域の方と一緒に実施したり、餅つきや朝市、カフェ等を楽しまれているというお話を聞きます。

地域とのコミュニケーションを取りながら、地域に根ざした施設となりますよう、これからもよろしくお願いいたします。

相談員：T様がソファから車椅子への移乗の時に、辛そうにされているのが気になりました。
施設：立ち上がりの時の補助が上手く行えていなかったようです。再度職員に伝えます。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設では、理学療法士さんが月1回訪問され、職員さんに利用者様ごとに個別の介助の仕方等を指導していただいているそうです。

ソファに座る時には、沈み込まないように背中にクッションを入れ、立ちあがる時には、膝を手前に引いて浅く座ってから立つことで、比較的楽に車椅子に移乗することができるそうです。

専門的な知識を知ることで、利用者様だけでなく、支援する職員さんにかかる負担も軽減されるのではないのでしょうか。とても勉強熱心な施設だと感じました。

《 参 考 》

組合および市町では毎月、介護サービス利用者様の自立支援を目的とした“自立支援ケア会議”を開催しております。ケアマネジャーに利用者様の支援内容を事例として提出いただき、理学療法士・作業療法士・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士の専門職が、利用者様の支援の仕方を一緒に考える会議です。
(※事例対象者は概ね要介護1までの軽度者)



～利用者様の声より～

利用者：私を家に連れて帰って。
施設：誕生日が近いので、昨日あたりから帰宅願望がありました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



相談員が利用者様に「誰に会いたいですか？」とのお尋ねに対して「お母さん。」という返事が戻ってきたそうです。

施設からは、「もちろん利用者様のお母様は亡くなっていますが、“誕生日＝お母さん”という想いがあるのかもしれませんが。」ということでした。

赤ちゃんから年齢を重ねて、例え認知症になっても親を慕う想いは、皆さんお持ちなのではないでしょうか。

施設の職員さんには、利用者様の誕生日に対する特別な想いを知り、寄り添っていただきたいと思いました。今後ともよろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。ご利用ください。